

# ODA

ピアネット・イルカ  
つうかん  
ODA通巻番号：1272



発行 社会福祉法人  
沖縄県身体障害者福祉協会  
編集人 NPO 法人沖縄県自立生活センター・イルカ  
住所 〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-4-1(1F)  
単価 100円(会費に含) TEL 098-890-4890  
FAX 098-897-1877



20周年パーティー.....2ページ  
しゅうねん  
だいらんとう 大乱闘スマッシュブラザーズin沖縄大会.....3ページ  
インおきなわたいかい  
おきなわ 沖縄タイムスの記事.....4ページ  
きじ

ねん がつ にち ふゆぞら ひ おきなわ  
 2019年12月14日の冬空の日、沖縄かりゆしアーバンリゾート・那覇で総勢200名余りの参加者で盛大  
 おこな ほうこく とも おんれいもう あ  
 に行われましたことを報告と共に御礼申し上げます。

た ぼうちゆう かか らいひんあいさつ  
 まず、ご多忙中にも関わらず来賓挨拶をいただきま  
 おきなわけん ち じ だいでく おきなわけん こ せいかつふくし ぶしょう  
 した沖縄県知事(代読) 沖縄県子ども生活福祉部障  
 がいふくし か かちょうおおしろゆきおさま な は しちしろ まみき こさま  
 害福祉課課長大城行雄様、那覇市長城間幹子様、  
 ぎ の わん しちょうまつかわまさのりさま うらせえ しちょうまつもとてつはるさま ころあたた  
 宜野湾市長松川正則様、浦添市長松本哲治様に心温

ことば  
 まる言葉をいただきました。  
 にんていエヌピーオーほうじんディービーアイに ほんかい ぎ ぎちょうひらの さま ぜんこく  
 認定NPO法人DPI日本会議議長平野みどり様、全国

じりつせいかつ きやうぎ かいだひひょうひらしたこうぞうさま えいぞう  
 自立生活センター協議会代表平下耕三様から映像メッセージ  
 しょうがいしゃうんどう なかま はげ ことば こん ご かつどう  
 で障害者運動をしていく仲間として励ましの言葉は、今後の活動

かて ころ びび じよせい  
 の糧にするエールのように心に響きました。また助成  
 いただ ジェイティー おきなわ してん かちょうだいいり しんがきよし おさま  
 頂いているJ Tより沖縄支店課長代理新垣善雄様

ふくし ざいだん やまがたしん じさま さん か かんしゃ  
 キリン福祉財団より山形伸次様もご参加いただき感謝です。

エヌピーオーほうじんせつりつ しゅうねん むか き のう  
 さて、NPO法人設立20周年を迎えています。昨日のいろいろな  
 こと おも だ とも せつりつ しょうがいしゃざいたくせい ど ふじゅうぶん じだい  
 事を思い出しています。共に設立し障害者在宅制度も不十分な時代に  
 びょういん ち いきせいかつ はじ こじんぜんだひひょう しんもんのぼる はつ かずおおく  
 病院から地域生活を始めた故人前代表の新門登さんの発した数多くの  
 ことば いま つぎ せだい こと なかま ころ きざ  
 言葉は、今でも次の世代につなぐ事としてイルカの仲間の心に刻んでいることで

しょう。また、2年間の足跡には必ず人との出会いがあり、多くの仲間の別れも

あります。そこで学んだ事は「一人の生きざまが制度をつくり、その恩恵を受ける若手の障害者の育成に  
 おお えいきょう おも  
 も大きな影響をあたえるであろう」と思うのです。

だひひょう ころのこ ひとつぜん のうないしゅけつ たお オー し せつにゆうしょ  
 代表としての心残りは、ある日突然に脳内出血で倒れたO氏があれから施設入所をしていることです。  
 ろ せんていしゅう い つづ じんにりよく せつりつしゃ ひとり  
 「路線低床バスにのりアクセスフリーにしたい」と言い続け尽力してきただけに……。設立者の一人として  
 おおき しゅくだい かか じ せだい とも かんが ほうほう  
 大きな宿題を抱えて次世代と共に考えていくしか方法はない。

じだい きたい む いしき さべつ き とも たたか つづ そしき のこ  
 これからの時代に期待することは、無意識の差別にも気づき、共に戦い続けられる組織づくりを残すた  
 たん きもくひょう ちゅうき ちゅうき きもくひょう じんざいいくせい わたし せつりつしゃ か つよ かん  
 めに、短期目標から中期・長期目標で人材育成に私たち設立者の課せられていることを強く感じながら、  
 ひと ていねい とく しょぜん こんご おお かがた かかわ ねが どう  
 一つひとつを丁寧に取り組み所存です。今後とも多くの方々と関りをつくってほしいと願い、これまで同  
 よう しえん べんたつ たまわ ねが いた かんたん れい  
 様ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い致します。簡単ではありますがお礼にいたします。



だいらんとう

インおきなわたいかい

# 大乱闘スマッシュブラザーズin沖縄大会

「自立塾」は、障がいがある人もない人も悩みや将来の夢を語りあうイベントの事です。  
 参加した方から12月15日(日)に、「大乱闘スマッシュブラザーズ」の誘いがあり、私達はイルカ代表として参加しました。

驚いたのが、電動車いす(99K)が乗れるエレベーターもなく、3Fまでの階段を5人の男性に手伝ってもらい電動車いすを担いで上げてもらいました。皆さん、Tシャツがビショビショになるほど汗だくで。会場に着いたら、電動車いすの方はイルカ2人しかいませんでした。

ゲームを始めたら、当事者の私がコントローラーを足に挟み片手で上手に操作しているのを見て、子供の一人が「あの～兄ちゃん見てみ、すごいよ」と注目されましたが試合はボロ負けでした。会場は建物が古く、バリアフリーの設置がなく車椅子の方には、厳しい会場でした。



みんなれんしゅうしあい  
 イルカの皆で練習試合だあ～  
 ぜったいかつ  
 絶対に、勝



かい きゅう かいだん  
**2階にいきたいけど急な階段**  
 だなあ、男性5人ほど呼んできてもらって、いいですか？

ねん れい わ ねん がつ にちきんよう び おきなわ  
2020年(令和2年)1月31日金曜日 沖縄タイムス

じゅう ど ち てきしやう こんしゅん ど め けんりつこうこうにゆうし のぞ なかむら い おり きたなかぐすくそん たい  
重度知的障がいがあり、今春3度目の県立高校入試に臨む中村伊織さん(17)＝北中城村＝に対し、  
けんきやういくちやう こうこう とくせい おう きやういくか てい ていきやう まな ほしやう けんかい  
県教育庁が「高校では特性に応じた教育課程を提供できず、学びを保証できない」とした見解について、  
へしきしやうじんけんきやういくちやう にち ご かい まね ひやうげん てつかい うえ じゅう ど ち てきしやう ふく  
平敷昭人県教育長は 30日、「誤解を招く表現だった」と撤回した。その上で、重度知的障がいを含むす  
べての生徒に「高校で学べる仕組みができないか、構築に向けて考えたい」と語った。

けんきやういくちやう どうじつ はな あ なかむら りやうしん ぜんこく しえんしや しやう しゃ にん よ  
県教育庁で同日、話し合いがもたれ、仲村さんの両親のほか、全国から支援者や障がい者ら 50人余  
さん か  
が参加した。

りやうしん さくねん がつ たま き ち じ へしきやういくちやう どう  
両親らは昨年12月、玉城デニー知事と平敷教育長に同  
けんかい さ べつ もんぜんばら てつかい にゆうがくきよか もと  
見解は「差別」「門前払い」として、撤回と入学許可を求め  
ようぼうしよ ていしゅつ  
る要望書を提出していた。

きやういくちやうがわ ひ おおさか ふ ち ばけん じゅう ど ち てき  
教育庁側はこの日、大阪府や千葉県などでは重度知的  
しやう せい と こうこう う い しやう  
障がいの生徒も高校で受け入れていることから「障がいの  
あるなしにかかわらず、高校に入学した全ての生徒に対し、  
まな ほしやう ひつやう ぶんげん ただ  
学びを保証する必要がある」と文言を正し、わびた。

なかむら がわ せんしん ち と く あゆ せつめい  
仲村さん側は先進地の取り組みや歩みを説明し「まずは  
にゆうがく みと たいせい との ほ うった ぎろん じ  
入学を認めて態勢を整えて欲しい」と訴えた。議論は10時  
かん い じやう およ  
間以上に及んだ。

へ さいきやういくちやう にち せんしん ち おおさか ふ ち ばけん  
平敷教育長は 21～23日、先進地の大阪府と千葉県を  
し さつ がつ いっばんにゆうし ちやくぜん たいおう こんしゅん にゆうし  
視察した。3月の一般入試直前の対応に、今春の入試で  
なん ほうしん しめ しつもん へしきやういくちやう  
何らかの方針が示されるのか質問されたが、平敷教育長  
は「制度設計に時間がかかる。なるべく早く検討するが、4  
がつ う い きび く かえ せんばつほうほう ひやう  
月すぐの受け入れは厳しい」と繰り返した。選抜方法や評  
かしゃくど た よう か ようせい げんきやう  
価尺度の多様化の要請にも、言及しなかった。

なかむら ちちあきら むすこ ねんかんがん ぼ がまん  
仲村さんの父兄さん(53)は「息子は 2年間頑張っているのに、いつまで我慢しなければならないのか。  
おとな じじやう こうこう まな い し しめ こ そんちやう はな  
大人の事情ではなく、高校で学ぶ意思を示す子どもを尊重してほしい」と話した。

